



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

2020年12月2日朝刊

新聞の魅力、コロナ語る

本紙と中日連携授業 編集局長が登場



情報を伝え続けることの大切さについて話す静岡新聞社の荻田雅宏編集局長(右)と中日新聞東海本社の林浩樹編集局長(右から2人目)＝1日午後、浜松市中区の静岡文化芸術大

静岡文化芸術大(浜松市中区)で開講中の静岡新聞社と中日新聞社による共同連携授業「メディアとしての新聞／社」で1日、両社編集局長によるトークセッションが開かれた。静岡新聞社の荻田雅宏編集局長と中日新聞東海本社の林浩樹編集局長が、新聞の魅力や新型コロナウイルスが報道現場に与えた影響などについて語った。

荻田編集局長は「ネットニュースにはない紙面の魅力に社説やコラムを挙げ、「新聞とは民主主義の土台を支えること。社説で新聞社の主張を伝え、課題を問い掛けることで議論の材料にもらえる」と語った。林編集局長は「紙面の幅広さを『デパート』のようで、新しい出会いもある」と表現し、「ネット検索の効率も大切だが、新聞の寄り道文化も大事にしてほしい」と伝えた。

新型コロナウイルスの報道で「感染者の人数が報じられすぎて不安を感じる」という意見があることについて担当の加藤裕治教授が問われると、林編集局長は「不安をあおるのはいけないが、だからといって事実を書かないという選択肢にはならない」と強調。荻田編集局長は「災害なども正しく恐れることが重要。正しい判断をしてもらえるような情報を伝えるながら、面白い話題も大切にしている」と説明した。

学生40人が聴講した。講座は両社がそれぞれ講師を派遣し、ジャーナリズム論や新聞のビジネスモデルなどを取り上げる。来年2月まで。

- ①荻田局長は新聞とは何の土台を支えると語っているか。
()
- ②新聞を議論の材料にしてもらえるよう何をしているのか。
()
- ③林局長は新聞紙面の幅広さを何に例えているか。
()
- ④新聞の「寄り道文化」とはどのようなことを意味しているか。
()
- ⑤「正しい判断につながる報道」はどうあるべきだと考えるか。記事を参考にあなたの考えを30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

年 組 名前



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年12月2日朝刊

新聞の魅力、コロナ語る

本紙と中日連携授業 編集局長が登場



情報を伝え続けることの大切さについて話す静岡新聞社の荻田雅宏編集局長(右)と中日新聞東海本社の林浩樹編集局長(右から2人目)＝1日午後、浜松市中区の静岡文化芸術大

静岡文化芸術大(浜松市中区)で開講中の静岡新聞社と中日新聞社による共同連携授業「メディアとしての新聞/社」で1日、両社編集局長によるトークセッションが開かれた。静岡新聞社の荻田雅宏編集局長と中日新聞東海本社の林浩樹編集局長が、新聞の魅力や新型コロナウイルスが報道現場に与えた影響などについて語った。

荻田編集局長は「ネットニュースにはない紙面の魅力に社説やコラムを挙げ、「新聞とは民主主義の土台を支えること。社説で新聞社の主張を伝え、課題を問い掛けることで議論の材料にもらえる」と語った。林編集局長は「紙面の幅広さを『デパート』のようで、新しい出会いもある」と表現し、「ネット検索の効率も大切だが、新聞の寄り道文化も大事にしてほしい」と伝えた。

新型コロナウイルスの報道で「感染者の人数が報じられすぎて不安を感じる」という意見があることについて担当の加藤裕治教授が問われると、林編集局長は「不安をあおるのはいけないが、だからといって事実を書かないという選択肢にはならない」と強調。荻田編集局長は「災害なども正しく恐れることが重要。正しい判断をしてもらえるような情報を伝えるながら、面白い話題も大切にしている」と説明した。

学生40人が聴講した。講座は両社がそれぞれ講師を派遣し、ジャーナリズム論や新聞のビジネスモデルなどを取り上げる。来年2月まで。

- ①荻田局長は新聞とは何の土台を支えると語っているか。
(**民主主義**)
- ②新聞を議論の材料にしてもらえるよう何をしているのか。
(**(例)社説で新聞社の主張を伝え、課題を問い掛けること。**)
- ③林局長は新聞紙面の幅広さを何に例えているか。
(**デパート**)
- ④新聞の「寄り道文化」とはどのようなことを意味しているか。
(**(例)(ネット検索のような)効率だけでなく、普段触れることのない新しい情報との出会いがある文化**)
- ⑤「正しい判断につながる報道」はどうあるべきだと考えるか。記事を参考にあなたの考えを30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例)事実を正確にとらえ、判断の材料になるような情報を書くこと。(29字) など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/国語、社会、総合)